

1月31日 国際理解教室 第4校目 春日丘小学校

とうとう今期最後の依頼校となりました。

朝10時に市役所を出発。給食にも参加して、戻って来たのは午後2時前でした。

今回は6人の学習者の方に協力してもらいました。3組に分かれてそれぞれ楽しい授業をしてくださいました。支援者も各組に散らばって通訳係をしました。

Iさんは日本語で簡単な国の紹介をしたあと、PCでたくさんの写真を見せて子供たちを楽しませてくださいました。

Pさんは民族衣装も用意してくださり、全ての説明を巧みな日本語で通してくださいました。

Uさんはバティックを着て来られて、その説明をされました。子供達も興味深かったのでしょう。質問をしていました。

NさんはPCで母国の町や小学生の写真を見せて判り易く説明してくださいました。最後にサルサを教えてください、皆で踊りました。

Cさんは持ってきてくれた子供の衣装を生徒たちに着せてくださいました。子供たちはとても喜んでくれました。民族楽器の太鼓も鳴らしてくれました。韓国の子供の遊び(コマ、おはじき、双六)も生徒たちと楽しみました。

学習後の給食時には、たくさんの生徒さんたちが学習者の隣に座りたいとジャンケンをするような場面もありました。

最後に体育館にて全員集合し、お別れ会が催され、その時に生徒さんたちから手作りの「日本の文化について」の小冊子がそれぞれの学習者に贈呈されました。

(後日、子供たちが書いたこの小冊子の日本語を教材にして勉強をした学習者もいます)

学習者のみなさんは感激と共に、かけがえのない時間を持てた事を実感されたご様子でした。

支援者は毎回自分の担当したクラスの様子しかわからないのが残念ですが、みなさんと一緒に貴重な体験を共有できました。

また来年も複数校から依頼があると思います。

それぞれの学校がどんな授業を希望され、どのような計画をされているのかをなるべく早く知り、よりよい授業になるように余裕を持って準備する事が一番重要な事だと思いました。

色々大変な事も多いのですが、一人でも多くの支援者の方が経験されます事を希望致します。

<支援者記>